

## 質疑・回答書

告示番号	第46号	件 名	(仮称)豊中市立北校建設工事、(仮称)豊中市南部コラボセンター建設工事
No	質疑事項	回 答	
	(構造)		
	〈共通〉		
1	埋戻し及び盛土において、種別がA種とB種があり、使い分けが不明です。全て、B種を使用すると考えてよろしいですか。ご指示願います。 (A-004)	図面番号A-004【共通】特記仕様書(1)に記載の埋戻し及び盛土の種別はB種とします。	
2	床下防湿層の適用箇所において、建物内部の土間スラブ下と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (A-004)	図面番号A-004【共通】特記仕様書(1)に記載の床下防湿層の適用箇所は、建物内部の土間スラブ下とします。	

No	質疑事項	回 答
3	<p>セメント種類・範囲が下記の通り異なりますが、【共通】コンクリート工事特記仕様書 ●2.コンクリートの種類及び強度ワーカビリティ及びスランプを正と考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <p>・【共通】特記仕様書(2):高炉セメントB種(基礎フーチング、地中梁)</p> <p>・【共通】コンクリート工事特記仕様書 ●2.コンクリートの種類及び強度ワーカビリティ及びスランプ:普通ポルトランドセメント(下部躯体)</p> <p>・【共通】コンクリート工事特記仕様書 ●14.マスコンクリート:高炉セメントB種(基礎躯体)</p> <p>(A-005・S-016)</p>	<p>図面番号S-016【共通】コンクリート工事特記仕様書を正とし、高炉セメントB種の記載は普通ポルトランドセメントを使用することとします。</p>
4	<p>上記 回答が【共通】特記仕様書(2):高炉セメントB種(基礎フーチング、地中梁)を正とする場合、1FLスラブ・耐圧版も高炉セメントB種範囲と考えてよろしいですか。ご指示願います。</p>	<p>図面番号S-016【共通】コンクリート工事特記仕様書を正とし、高炉セメントB種の記載は普通ポルトランドセメントを使用することとします。</p>
5	<p>スリット振れ止め筋は、防錆処理筋と考えてよろしいですか。ご指示願います。</p>	<p>スリット振れ止め筋は、防錆処理筋とします。</p>
6	<p>配管ピット(土間コンクリート)を除くピット天端レベルにおいて、ピット平面図に記載のレベルはスラブ上増打天端レベルとし各棟基礎・ピット伏図に記載のレベルは増打前のスラブ天端レベルと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <p>(A-035)</p>	<p>配管ピット(土間コンクリート)を除くピット天端レベルにおいて、図面番号A-035【共通】ピット平面図に記載のレベルはスラブ上増打天端レベルとし、各棟基礎・ピット伏図に記載のレベルは増打前のスラブ天端レベルとします。</p>

No	質疑事項	回 答
	<北校舎棟>	
7	機械式継手の適用箇所において、緊張後施工との接続部と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SN-042)	機械式継手が必要な箇所は、PC緊張後施工との接続部(スラブ筋及び小梁主筋)及び緊張端定着具と干渉する大梁主筋とします。
8	機械式定着板の適用箇所において、地中梁リストの※印付地中梁主筋と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SN-015・SN-016)	機械式定着板の適用箇所は図面番号SN-015、016【北校舎】地中梁リスト(1)(2)の※印付地中梁主筋とします。

No	質疑事項	回 答
	<南校舎棟>	
9	機械式継手の適用箇所において、緊張後施工との接続部と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SS-052)	機械式継手が必要な箇所は、PC緊張後施工との接続部(スラブ筋及び小梁主筋)及び緊張端定着具と干渉する大梁主筋とします。
10	機械式定着板の適用箇所において、地中梁リストの※印付地中梁主筋と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SS-022・SS-023)	機械式定着板の適用箇所は、図面番号SS-022、023【南校舎】地中梁リスト(1)(2)の※印付地中梁主筋及び図面番号SS-013～016、018【南校舎】軸組図(3)～(6)、(8)に示す○印も機械式定着版の適用箇所となります。

No	質疑事項	回 答
	<大アリーナ棟>	
11	Hyper-MEGA工法の杭頭補強筋において、NewJ-BAR工法と考えられますが、鉄筋長・溶接長等の要領が不明です。鉄筋長L=1190、溶接長L=140と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SK-001A)	杭頭補強筋の定着長は1000mm、溶接長さは140mm以上とします。
12	機械式定着板の適用箇所において、地中梁リストの※印付地中梁主筋と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SA-009)	機械式定着板の適用箇所は図面番号SA-009【大アリーナ】地中梁リストの※印付地中梁主筋とします。

No	質疑事項	回 答
	〈放課後こどもクラブ室棟〉	
13	機械式定着板の適用箇所において、地中梁リストの※印付地中梁主筋と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SK-003)	機械式定着板の適用箇所は図面番号SK-003【放課後こどもクラブ室】基礎リスト・地中梁リストの※印付地中梁主筋とします。

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈南部コラボセンター棟〉</p>	
14	<p>機械式継手の適用箇所において、緊張後施工との接続部と考えてよろしいですか。また後施工の小梁主筋接合部はガス圧接と考えてよろしいですか。合わせてご指示願います。 (SC-042・SC-046)</p>	<p>機械式継手が必要な箇所は、PC緊張後施工との接続部(スラブ筋及び小梁主筋)及び緊張端定着具と干渉する大梁主筋とします。</p>
15	<p>機械式定着板の適用箇所において、地中梁大梁の主筋定着端部と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (SC-016・SC-017)</p>	<p>機械式定着板の適用箇所は、図面番号SC-016、017【南部コラボセンター】地中梁リスト(1)(2)の※印付地中梁主筋及び図面番号SC-007～012【南部コラボセンター】軸組図(1)～(6)に示す○印も機械式定着版の適用箇所となります。</p>

No	質疑事項	回 答
	(外部)	
	〈共通〉	
16	<p>           縦樋について、仕上表にDPφ100(カラーVP)とありますが、参考数量書にはDPがありません。仕上表を正と考えてよろしいですか。ご指示願います。            (A-029)         </p>	<p>           図面番号A-029【共通】外部仕上表「外壁/その他雑/樋」について、記載のとおりDPφ100(カラーVP)とします。         </p>
17	<p>           縦樋について、仕上表にH=2000までSGPとありますが、数量書にはありません。仕上表を正と考えてよろしいですか。上記が正の場合、SGP管にSOP塗は不要ですか。また設置箇所は1F廻り全てと考えてよろしいですか。ご指示願います。            (A-029)         </p>	<p>           図面番号A-029【共通】外部仕上表「外壁/その他雑/樋」に記載のとおり、SGP(H=2000まで)とします。又、SOP塗を行うこととし、設置箇所は1階廻り全てとします。         </p>



No	質疑事項	回 答
	<北校舎棟>	
18	屋外階段(1)の仕上について、下記の通り考えてよろしいですか。 ・踊場: 鉄骨面にビニル床シート ・踏面: 鉄骨面にビニル床シート ・蹴込: 溶融亜鉛メッキのまま ご指示願います。 (A-123)	図面番号A-123【北校】階段詳細図(13)屋外階段(1)の仕上は、踊場・踏面は鉄骨面にビニル床シートとし、蹴込は溶融亜鉛メッキのままとします。
19	屋内階段(9)の仕上について、下記の通り考えてよろしいですか。 ・踊場: 鉄骨面にモルタル金罫(溶接金網φ32*50*50) ・踏面: 鉄骨面にモルタル金罫(溶接金網φ32*50*50) ・蹴込: 溶融亜鉛メッキのまま ご指示願います。 (A-122)	図面番号A-122【北校】階段詳細図(12)屋外階段(2)/屋内階段(9)の仕上は、踊場・踏面はモルタルt40金罫、ワイヤーメッシュ6-100×100とし、蹴込は溶融亜鉛メッキのままとします。
20	屋内階段(9)について、階段詳細(12)の手摺詳細図に鉄部見え掛かりはSOP塗とありますが、参考数量書のSOP塗 1.9㎡とは数量が合わないように思います。屋内階段(9)はSOP塗不要と考えてよろしいですか。必要な場合該当範囲をご指示願います。また参考数量書の1.9㎡の範囲も併せてご指示願います。 (A-122)	図面番号A-122【北校】階段詳細図(12)屋外階段(2)/屋内階段(9)の手摺について、鉄部見え掛かりは全て溶融亜鉛メッキとし、SOP塗範囲は監督職員との協議によるものとします。参考数量書については注意事項に記載のとおり回答できません。
21	屋上配管取出口について、部分詳細にハコットの記載がありますが、平面には記載がありません。参考数量書の箇所数で見込んでよろしいですか。ご指示願います。※南校舎共 (A-034・046)	配管取出口は、図面番号A-034【共通】R階平面図に記載はなく、図面番号A-031～033【共通】2～4階平面図に記載のとおりとします。

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈南校舎棟〉</p>	
22	<p>屋内階段(10)の仕上について、踊場・踏面・蹴込共にモルタル金鍍+U防水(b)と考えてよろしいですか。ご指示願います。 (A-113)</p>	<p>図面番号A-113【北校】階段詳細図(3)屋外階段(3)/屋内階段(10)の仕上は、踊場・踏面・蹴込共にモルタル金鍍+U防水(b)とします。</p>

No	質疑事項	回 答
	(内部)	
	〈南部コラボセンター〉	
23	1Fプレイルーム(2) 仕上表でコーナーガードBと記載がありますが、平面詳細図ではコーナーガードAとなっております。コーナーガードAでよろしいですか。ご指示願います。 (A-401・414)	1Fプレイルームのコーナーガードは図面番号A-414【南部コラボセンター】1階プレイルームまわり詳細図に記載のコーナーガードAを正とします。

No	質疑事項	回 答
	(建具)	
	<北校>	
24	<p>PS-2の建具員数に於いて、下記で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表…26か所</li> <li>・建具案内図…23か所(正)</li> </ul> <p style="text-align: center;">(北校舎5か所+南校舎18か所)</p> <p>(A-207～210・222)</p>	<p>PS-2の数量は、図面番号A-222【北校】建具表(12)(内部建具)に記載のとおり26箇所とし、図面番号A-207～210【北校】建具案内図(1)～(4)に記載のない箇所は監督職員の指示する箇所に設置するものとします。</p>
25	<p>確認となりますが、南校舎 1階 SI通りS11～S12間の職員用男子便所のSF-9は3か所と考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <p>(A-207)</p>	<p>図面番号A-207【北校】建具案内図(1)(1階)の、南校舎 1階 SI通りS11～S12間の職員用男子便所のSF-9は3か所とします。</p>

No	質疑事項	回 答																											
26	<p>SF-9の建具員数に於いて、下記で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表…44か所</li> <li>・建具案内図…45か所(正) (北校舎20か所+南校舎13か所+ 大アリーナ2か所+放課後こどもクラブ10か所)</li> </ul> <p>(A-207~210・225)</p>	<p>図面番号A-207~210【北校】建具案内図(1)~(4)(1階)~(4階)、図面番号A-125~130【北校】便所詳細図(1)~(6)に記載のとおり、北校舎21か所+南校舎14か所+大アリーナ6か所+放課後こどもクラブ10か所で、計51ヶ所とします。</p>																											
27	<p>建具の寸法に於いて、建具表の中で寸法欄と姿図欄で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 20%;">寸法欄</th> <th style="width: 20%;">姿図欄(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AW-143</td> <td>H1875</td> <td>H1675</td> </tr> <tr> <td>・AW-160</td> <td>W21500</td> <td>W22060(2855+12795+6410)</td> </tr> <tr> <td>・AW-161</td> <td>W20485</td> <td>W21035(6400+11780+2855)</td> </tr> <tr> <td>・ACW-101</td> <td>W32140</td> <td>W32085(29965+2120)</td> </tr> <tr> <td>・AW-3</td> <td>W2970</td> <td>W2770</td> </tr> <tr> <td>・AW-4</td> <td>W3270*H2885</td> <td>W3170*H2785</td> </tr> <tr> <td>・AWD-8</td> <td>W2400</td> <td>W2460</td> </tr> <tr> <td>・SP-6</td> <td>W6735</td> <td>W6643</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A-213~226)</p>		寸法欄	姿図欄(正)	・AW-143	H1875	H1675	・AW-160	W21500	W22060(2855+12795+6410)	・AW-161	W20485	W21035(6400+11780+2855)	・ACW-101	W32140	W32085(29965+2120)	・AW-3	W2970	W2770	・AW-4	W3270*H2885	W3170*H2785	・AWD-8	W2400	W2460	・SP-6	W6735	W6643	<p>図面番号A-213~226【北校】建具表について、AW-143、AW-160、AW-161、ACW-101、AW-3、AW-4、AWD-8、SP-6の建具寸法は姿図欄を正とします。</p>
	寸法欄	姿図欄(正)																											
・AW-143	H1875	H1675																											
・AW-160	W21500	W22060(2855+12795+6410)																											
・AW-161	W20485	W21035(6400+11780+2855)																											
・ACW-101	W32140	W32085(29965+2120)																											
・AW-3	W2970	W2770																											
・AW-4	W3270*H2885	W3170*H2785																											
・AWD-8	W2400	W2460																											
・SP-6	W6735	W6643																											
28	<p>SD-23の防火性能に於いて、下記で異なります。建具形状より、下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建具表…○特(常時閉鎖特定防火設備)</li> <li>・建具案内図… 二重□特(随時閉鎖特定防火設備(遮煙性能))(正)</li> </ul> <p>(A-208・221)</p>	<p>SD-23の防火性能は図面番号A-208【北校】建具案内図(2)(2階)を正とし、随時閉鎖特定防火設備(遮煙性能)とします。</p>																											

No	質疑事項	回 答																								
29	<p>北校舎棟 建具員数に於いて、参考内訳と建具案内図で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">参考内訳</th> <th style="text-align: center;">建具案内図(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PS-1</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td>・PS-4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>・SD-6</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>・SD-6d</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>・AW-136</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>・WD-2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>・WD-3</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A-207~210)</p>		参考内訳	建具案内図(正)	・PS-1	14	15	・PS-4	4	6	・SD-6	5	0	・SD-6d	0	4	・AW-136	3	2	・WD-2	2	0	・WD-3	0	2	<p>北校舎棟における建具員数について、PS-1、PS-4、SD-6、SD-6d、AW-136、WD-2、WD-3は図面番号A-207~210【北校】建具案内図(1)~(4)(1階)~(4階)を正とします。</p>
	参考内訳	建具案内図(正)																								
・PS-1	14	15																								
・PS-4	4	6																								
・SD-6	5	0																								
・SD-6d	0	4																								
・AW-136	3	2																								
・WD-2	2	0																								
・WD-3	0	2																								
30	<p>南校舎棟 建具員数に於いて、参考内訳と建具案内図で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">参考内訳</th> <th style="text-align: center;">建具案内図(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PS-4</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>・AW-1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>・SS-101</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A-207~210)</p>		参考内訳	建具案内図(正)	・PS-4	9	8	・AW-1	1	0	・SS-101	1	0	<p>南校舎棟における建具員数について、PS-4、AW-1、SS-101は図面番号A-207~210【北校】建具案内図(1)~(4)(1階)~(4階)を正とします。</p>												
	参考内訳	建具案内図(正)																								
・PS-4	9	8																								
・AW-1	1	0																								
・SS-101	1	0																								
31	<p>大アリーナ棟 建具員数に於いて、参考内訳と建具案内図で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">参考内訳</th> <th style="text-align: center;">建具案内図(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SF-9</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A-207~209)</p>		参考内訳	建具案内図(正)	・SF-9	6	2	<p>大アリーナ棟における建具員数について、SF-9は図面番号A-207~210【北校】建具案内図(1)~(4)(1階)~(4階)及び図面番号A-130【北校】便所詳細図(6)の記載のとおり、6ヶ所とします。 大アリーナ1階の男子便所(4)に3か所、女子便所(4)に1か所、2階男子便所(4)に1か所、女子便所(4)に1か所です。</p>																		
	参考内訳	建具案内図(正)																								
・SF-9	6	2																								

No	質疑事項	回 答									
32	<p>放課後子どもクラブ室棟 建具員数に於いて、参考内訳と建具案内図で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0" data-bbox="360 331 1146 464"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">参考内訳</td> <td style="text-align: center;">建具案内図(正)</td> </tr> <tr> <td>・SF-9</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td>・SF-10 (A-207)</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>		参考内訳	建具案内図(正)	・SF-9	0	10	・SF-10 (A-207)	10	0	<p>放課後子どもクラブ室棟における建具員数について、SF-9、SF-10は図面番号A-207～210【北校】建具案内図(1)～(4)(1階)～(4階)を正とします。</p>
	参考内訳	建具案内図(正)									
・SF-9	0	10									
・SF-10 (A-207)	10	0									

No	質疑事項	回 答
	<南部コラボセンター>	
33	建具案内図(1) 1階C7通りCG~CH間 EPSの建具がSD-206bですが、内部建具となるため、PS-50としてよろしいですか。ご指示願います。 (A-465・470)	図面番号A-465【南部コラボセンター】建具案内図(1) 1階C7通りCG-CH間EPSの建具は、記載通りSD-206bとします。
34	建具案内図(2) 3階C5~C5a・CB-CC間 相談室の片開戸に建具符号が無く、仕様が不明です。LSD-51aとしてよろしいですか。ご指示願います。 (A-466)	図面番号A-466【南部コラボセンター】建具案内図(2) 3階C5~C5a・CB-CC間 相談室の片開戸は、LSD-51aとします。
35	建具表(7) LSD-51aに於いて、建具符号欄に特の記載がありませんが、建具案内図に特定防火設備の記載がなく、ガラスもF4と防火性能ではありません。特定防火設備ナシと考えてよろしいですか。特定防火設備とする場合は、ガラスの変更を併せてご指示願います。 (A-465・466・473)	建具LSD-51aについては、特定防火設備とし、図面番号A-464【南部コラボセンター】建具共通事項より耐熱強化ガラスT6とします。



No	質疑事項	回 答																					
36	<p>建具員数に於いて、参考内訳と建具案内図で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>参考内訳</th> <th>建具案内図・建具表(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SD-54</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>・SD-55</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>・LSD-56</td> <td>10</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>・PS-50</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>・PS-52</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>・SF-54</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A-465・466・473・474・476)</p>		参考内訳	建具案内図・建具表(正)	・SD-54	2	1	・SD-55	3	4	・LSD-56	10	11	・PS-50	15	14	・PS-52	7	9	・SF-54	1	2	<p>建具員数は、図面番号A-465・466【南部コラボセンター】建具案内図(1)(2)・図面番号A-473・474・476【南部コラボセンター】建具表(7)(8)(10)(内部建具)に記載のとおりとします。</p>
	参考内訳	建具案内図・建具表(正)																					
・SD-54	2	1																					
・SD-55	3	4																					
・LSD-56	10	11																					
・PS-50	15	14																					
・PS-52	7	9																					
・SF-54	1	2																					
37	<p>建具寸法に於いて、建具表の寸法欄と姿図欄で異なります。下記の通りと考えてよろしいですか。ご指示願います。</p> <table border="0"> <thead> <tr> <th></th> <th>寸法欄</th> <th>姿図欄(正)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・AW-221</td> <td>H2875</td> <td>H2775</td> </tr> <tr> <td>・ACW-201</td> <td>W12265*H3740</td> <td>W11265(7035+4230)*H3700</td> </tr> <tr> <td>・SW-201</td> <td>H1700</td> <td>H1675</td> </tr> <tr> <td>・AW-50</td> <td>W6878</td> <td>W9578(2700+6878)</td> </tr> <tr> <td>・SD-60</td> <td>H2100</td> <td>H2000</td> </tr> <tr> <td>・SS-51</td> <td>H2000</td> <td>H2200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(A-468～474)</p>		寸法欄	姿図欄(正)	・AW-221	H2875	H2775	・ACW-201	W12265*H3740	W11265(7035+4230)*H3700	・SW-201	H1700	H1675	・AW-50	W6878	W9578(2700+6878)	・SD-60	H2100	H2000	・SS-51	H2000	H2200	<p>図面番号A-468～474【南部コラボセンター】建具表(2)～(8)(内部建具)について、建具の寸法は下記の通りとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AW-221: 姿図欄を正とし、H2775とします。</li> <li>・ACW-201: W11,265×H3,740とします。</li> <li>・SW-201: H1700を正とします。</li> <li>・AW-50: 姿図欄を正とし、W9578(2700+6878)とします。</li> <li>・SD-60: 姿図欄を正とし、H2000とします。</li> <li>・SS-51: 姿図欄を正とし、H2200とします。</li> </ul>
	寸法欄	姿図欄(正)																					
・AW-221	H2875	H2775																					
・ACW-201	W12265*H3740	W11265(7035+4230)*H3700																					
・SW-201	H1700	H1675																					
・AW-50	W6878	W9578(2700+6878)																					
・SD-60	H2100	H2000																					
・SS-51	H2000	H2200																					

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076  
FAX 06-6858-7225  
E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp